

岡 崎 市 小 中 学 校 視 聴 覚 教 育 協 会 報

発行 岡崎市内 小中学校 視覚教育 協会 印刷部 22-1235
 刷研 文印 22-1235
 電話



会長に就任して

柄沢道利 会長

前桑子会長のとを受けて、重責を痛感してありますが、幸いに役員の方々がこの道のベテランばかりだから、大いに力強さを感じます。各位の絶大なご協力を仰ぎながら、大禍なく責めを全うしたいと存じます。

ところで、教育は人間形成を本命としています。われわれが受持つ学校教育、ことに小中学校教育は子どもたちが、成長発育の最中にあるだけに、その使命はまことに重大であります。その教育活動の中では、教科を通して行う授業を核として、特活・行事等が本来の持ち味を十分に発揮することが中心であります。そして全体が調和と統一をもたせしめられるとき、将来を背負う子どもたちに、理想的な人間像の形成を期待することができると信じます。

この教育活動の根本をなすと思われることは、子どもたちが主体的に外からの刺激を知

覚するところからは、まります。刺激を正しく受けとめた知覚、強烈で印象的な知覚、実物でないのがたい知覚等、この正しく、生々の脳細胞に明確に印象づけられて、ここにはじめて学習とか教授とかが成立するからであります。この知覚の問題即ち学習・教授の根本的な問題として、視聴覚教材のもつ役割の重要性を痛感するもので、決して強調しすぎるものではありません。

今後の教育は機器の導入、活用によって大きく転換しようとしています。この点、まことに喜ばしく、大いに効果を期待するものであります。

この主旨をいはやくどうさつして発足した本協会は、今日県下にまれな成果をあげつつあることは、実に幸せという外はありません。ことに今回は本協会の運営のため四百万円に近い運営費を市当局と、教育委員会の深いご理解によって計上され、円滑な運営が着々と進行しています。この恵まれた条件を生かして、常に反省と努力を重ねたいと思えます。

そこで、考えなければならぬ一つとして、本協会が常に新しい進歩した教材を研究していくこととあります。幸い研究部門も各専門的な先生方によって、着々改善に改善を加えられていくことは、全市職員の期待にそうものであります。

今、一つは、せつかく立派な教材がライブラリーの棚に整えられても、現場の先生方がこれを活用するだけの熱意がない場合には、「宝の持ちぢざれ」になるといふことです。

この点は、老会長の取越し苦労でなければまことに幸いであります。

昭 和 四 十 五 年 度
 岡 崎 市 小 中 学 校 視 聴 覚 教 育 協 会 役 員

副 会 長	梅園小学校長	根石小学校長	常磐中学校長	六ツ美	中部小学校長	生平小学校長	連尺小学校長	六名小学校長	葵中学校長	城北中学校長	六ツ美	北部小学校長	福岡小学校長	福岡中学校長	愛宕小学校長	愛知教育大学付属岡崎小学校長	教育委員会 学校教育課長	運営委員 小学校代表 (羽根小)	運営委員 中学校代表 (南 中)	教育委員会指導係長	会計監査				
会 長	龍海中学校長	根石小学校長	青木嘉夫	浅井善一	阿部俊房	石川博	奥村忠吉	糟谷正孝	神尾正弘	鈴木村正弘	鈴木村正弘	杉田博	塚本時丸	原田修	山本修	相川高雄	滝口忠男	根洋	安藤良正	富田丈三郎	北川英雄	鈴木正三郎	梅園小学校教諭	矢作南小学校長	根石小学校教頭

* 本年度事業計画

本年度の協会の事業計画が、次のように決まり実施される運びとなりました。

一、目標

教材センターを志向して、ライブラリーの活動を推進する。

二、方針

視聴覚教育活動をより一層推進するため次の方針をかげ自主的、協同的な実践をはかる。

・施設、設備の合理的な管理運営をするため、調査広報活動を活発にする。

・教材映画等の効果的利用をはかるため、選定試写会を実施し、資料を作成する。

・指導計画に準拠した視聴覚教材の制作を行ない、学習への効果的な利用をはかる。

・視聴覚教材操作の研修を推進し、機能・活用についての理解を深める。

・実践を通して、視聴覚教材の効果を明らかにし、指導計画への位置づけを研究する。

三、事業計画

イ、教材フィルム選定・試写の会
各教科道徳特活から一定数の選定委員を選出し、プレス選考・試写会を実施する。

ロ、巡回映画会
小中別に劇映画、教材映画を各一本ずつ巡回し、感想文を提出させる。

ハ、講習会・研修会
八ミリ実技講習会

校内放送・アナウンス講習会
視聴覚主任研修会

教材映画等利用研究会
ニ、指導者養成

適任者を次の各大会に派遣し、視聴覚教育に対する知識を深める機会とする。

視聴覚教育合同全国大会・放送教育全国大会・視聴覚教育指導者講習会・学視連夏期講座

ホ、A V 会報の発行

年三回視聴覚教育の新しい情報、各校の実態を掲載し、意識を高める資料とする。各専門部会

・管理部 A V 会報、その他 P R 活動

・研究部 教材、機材の選定
教材の資料、目録の作成、研究誌の作成・視聴覚教材を利用した授業研究(映画・スライド・放送・OHP等)

・技術部 自作教材の研究
視聴覚機材の研究
講習会・研究会の計画

ト、視聴覚教材を利用した授業研究の推進
専門部の学習研究部が中心になり研究を進める。各校の実践記録をまとめて、岡崎の視聴覚第三号として発行する。

■昭和四十五年予算決まる

六月二十六日の視聴覚主任者会において、本年度の予算案が審議され、決定しました。とくに、本年度の事業計画に関連する項目を抜粋し、ここに紹介します。

・印刷製本費 二十三万六千円
A V 会報(年三回発行)・研究誌・フィルム一覧表・フィルム資料・教材フィルム利用の手引等

・制作費 九万円
十六ミリ・八ミリ・OHP・校内放送等の講習会・八ミリ自作

・教材費 百六十五万円
教材フィルム三十本購入・スライド・八ミリフィルム購入

・機材費 二十一万三千円
OHP・幻燈機・スクリーン購入

■各種講習会案内

本年も現職教育視聴覚部会・視聴覚教育協会等の主催で、各種講習会が開催されますのでふるってご参加ください。詳細は各校主任を通じてご案内します。

・十六ミリ技術者講習会
期日 七月二十五日・二十六日
会場 梅園小学校

・校内放送講習会
期日 八月七日
会場 城北中学校

・八ミリ実技講習会
期日 八月四日・八月十一日
会場 羽根小学校

・OHP資料作成講習会
期日 七月二十八日
会場 梅園小学校

■新機材紹介コーナー

本年度予算でつぎの機材を購入いたしましたので、二期期よりどしどしご利用くださるようお願いいたします。

① スライド・プロジェクター(幻燈機)
光と超音波で操作する高級機です。ピント調整は、オートフォーカス。フィルム送りにはワイヤレスリモコンから発する超音波これを受信器がキャッチして、好条件の場所では約二〇米のきよりから前進とも自由自在に送れます。

② OHP・スクリーン一式
T P 自作用具セット

OHP を効果的に使用するために開発された T P 自作教材と用具をコンパクトに収め保管、持ち運びに便利なケース入りです。特に偏光板の活用を望みます。

学校紹介

本校の放送教育について

岡崎市立三島小学校

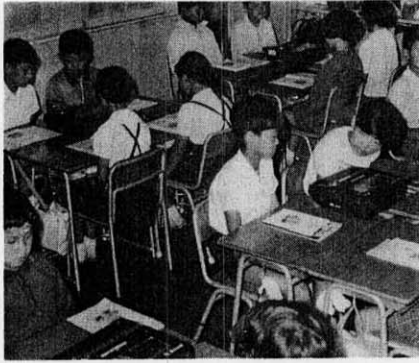
最近、テレビ・ラジオ放送及び視聴覚機器の教育的利用ということが、盛んにいわれるようになってきた。これは、たいへんよい傾向ではないかと思っている。

一、放送教材の利用

① ラジオ国語教室

「ラジオ国語教室」については、全学年継続聴取している。これは、国語教育の一環として先年度から継続聴取している。

利用方法として、生放送聴取と同時に録音し、教材資料としてのこしている。既に、録音教材として集録した数は、一五〇本を越えている。



②「ラジオ名作番組」 子どもたちが、最も楽しく聞かせる名作番組である。ラジオ図書

(高学年向け)「みんなの図書室」(中学年向け)・「お話たまたま箱」(低学年向け)の三つの放送である。これらの放送は、一応録音をし、教材利用として必要のあるものについては、集録し利用してもらうようにしている。主に名作番組は、昼食時に校内放送として流している。こうして、子どもたちが名作に親しむようにしている。

③ その他ラジオ放送の利用

「ラジオ国語教室」・「ラジオ名作番組」以外については、学年・学級によって、自由選択し、継続または一部聴取をしている。

④ テレビ利用

全学級にはテレビがそなえつけてある。テレビ放送の利用は、ラジオ放送と同様、その利用の教育的効果は誠に大きいものがある。本校では、特に「安全教室」を週に二回視聴している。その他、理科・社会に関する放送も継続視聴している。

ラジオ・テレビの学校放送を積極的に取り入れ、学習の効率化をはかるように努めている。そして、子どもの創造性を開発し、一層高めたいものだと考えている。

二、録音機の利用

録音機一三台の使用によって、話すこと、聞くことの学習に役立てている。録音された自分の声や話を、客観的な立場で批判し、矯正し、練習するといふ経験の積み重ねは、音声指導の面からいって大切なことである。

また、学級放送で、作文・詩の朗読・物語や放送劇・歌や合奏などバラエティーに富んだものも録音し、校内放送で流している。子どもたちの興味と関心は、非常に大きなものである。校内放送は、聞く子どもたちに、期待とよろこびを感じさせる内容のものでありたい。

今後、学校放送を利用し、視聴覚機器をフルに活用して効果をあげるようにしたい。

教材フィルム利用状況(四月～六月)

1. 学校別利用状況

①梅園小	二四回
②矢東小	一五回
③常南小	一三回
④六名小	一一回
⑤大樹寺小	一〇回
⑥愛宕小	九回
矢南小	九回

中学校は最高が葵中の七回で、あとは六中の五回、その他は二・三回程度の利用であり、全く利用のない学校は、小学校で四校、中学校で一校ありました。

2. 教科別利用状況

①理科	二四六本
②社会科	二八二本
③道徳その他	四九本
④保・体科	四一本
⑤技・家科	一一本
⑥音楽科	一一本
⑦算数科	五本
⑧図工科	一本

利用がありません。今後大いに利用されるよう願っています。

3. 月別利用状況

四月	八〇本
五月	二一八本
六月	三九九本

三ヶ月間に六四七件の利用は、こどももよく利用されている数字です。教材フィルムの利用については、とくに一時間(四十五分)の授業のなかに位置づけるには、いろいろな問題があり、フィルムの分節利用が、論議されている時であります。先生方が、積極的に視聴覚教材の活用をはかってみえることに、私共は深く敬意を表します。また、貸出・返納には、いつもご協力いただきありがとうございます。なお、一六ミリのフィルムにたいしては、八ミリのフィルムの上で利用をおすすめています。

※ファイル紹介

- 小学校の家庭科(スライド カラー)
- 5年家庭1 家庭の生活・仕事の分たん
- 5年家庭2 訪問の仕方・応接の仕方
- 5年被服1 よい身なり・衣服の手入れ
- 5年被服2 洗濯の仕方・ミシンの扱い方
- 5年食物1 食事の手つだい・食物と栄養
- 5年食物2 調理用具の使い方

ガスを使った調理

- 5年すまい・そうじ・持ち物の整とん
- 6年家庭・買物と金銭の使い方など
- 6年被服1 夏の衣生活・冬の衣生活
- 6年被服2 衣服のしまい方など
- 6年食物1 働きよい台所・たのしい会食
- 6年食物2 献立づくり・調理の計画
- 6年すまい・大そうじ・調和のあるすまい
- 6年すまい・夏・冬のすまいのくふう

● たのしい学級を作ろう

この映画はお誕生会の問題を通して学級活動をとりあつたものである。お誕生日は一人一人が生まれてきた日な記念日であることを認識したり、自分の顔がだれの顔とも違うこの世でたった一つしかない顔であることを知ったりすることによって自己および他人、一人一人のいのちの尊さを知らせ、こういうことをよく考えることが学級づくりの根本であることを描いたものである。

● 鳥の育ち方

この映画は、トリの卵を暖めると、血管、心臓、目などができることを理解させるために役立てることができる。

ニワトリの卵を例にして、内部の変化の過程を調べるのであるが、二十一日間の成長の過程を圧縮し、成長と温度の関係、湿り気と空気の必要性などを比較観察によって知らせることができる。

卵の内部の変化については、とくに調べたり観察したりすることは、むずかしいので、この映画を利用して理解させると好都合である。

● 地球儀と地図

小学校高学年及び中学校むけの社会科教材映画である。

本来球形の地球を平面図である地図に表現する方法を理解させようとしている。

まず、初めに地球儀を使って経度・緯度のおおまかな説明から始まり、地図帳に記述してある、メルカトル、平射、ボンヌの各投影図法および、モルワイデ図法の特徴をわかりやすく説明している。

● 海岸と島

カラー 小五・六 中学

十三分

日本は多島国であり、山国である。海岸線は複雑で、山地が海に迫っているところが多く、狭い海岸の平地を重要な居住地域、生産地域としている。多くのはなれ島は山地地形で孤立した社会を構成している。こうした海岸と島のすがたをいっそう明らかに示すために、航空撮影により、特色のある海岸と島を広くとらえ、具体的な理解を意図したものである。

● 力のおよぼしあい

中学 十四分

AとBとの2つの物体がふれ合っているところでは、AがBに力を及ぼすと、Bはそれと同じ大きさの力をAに及ぼす。この場合この力のいずれか一方を作用というとき、他方を反作用という。互に作用と反作用という2物体の相互作用は、大きさが等しく向きが反対である。これを作用・反作用の法則又は力と反力の法則という。この映画は実験をもとにこの作用・反作用の力のおよぼしあいを解説し、幾つかの実例をあげた中学校向の理科教材映画である。

交通安全スライド

寄贈受く

— 中部電力より —

先般ライオンズクラブより交通安全スライドの寄贈をうけ、各校で非常に活発に利用されています。このたびに、中部電力より「みんなの交通安全」小学校編三セットの寄贈をうけました。このスライドは、低・中・高学年の三部にわかれています。

毎月十日の交通事故死0の日、十五日の交通安全日を中心に、交通安全指導のために、大いに活用されるよう希望いたします。

■ライブラリーだより

○ 二期期の貸出開始は、九月七日(月)からです。従来通り配送計画を参照のうえ、お申し込みください。

○ 巡回映画会について
例年実施していましたが巡回映画会は、本年から、年一回になりました。管理部とも相談して、二期期中に適当な日を選び実施いたします。

○ 自動車の定期点検について
自動車は九月二十二日より車検にはいりませんので、つぎの間中は配達を行いませんからよろしくお願ひします。
自九月二十一日起至九月二十九日

○ 教材ファイルの利用について
昭和四十五年度の新規購入ファイルは、二期より利用できます。おつてAV会報の号外で詳細は連絡いたします。
ライブラリーは、視聴覚総合センターとしての機能の充実をはかっています。おおいに活用されることを希望します。